

農業後継者育成基金事業

平成 29 年度農業青年組織等活動活性化事業

事業主体名 串良町農業青年クラブ

1 目的

当クラブでは近年、クラブ員が増えておらず、会の活性化と地域の若手生産者への PR を目的に取り組みを行った。WCS の試験栽培と将来的な野菜との輪作について検討するとともに資質向上のための視察研修を行った。

2 実施状況（主要なものを選定して記載してください）

(1) WCS 実証と野菜との輪作検討

5 月 10 日に 70a の水田に飼料稲を作付け、WCS の実証を開始した。

毎月栽培管理を確認し、これまで栽培経験のないクラブ員も WCS の栽培技術を学びクラブ活動の活性化につながった。

8 月 19 日の収穫時は多くのクラブ員が参加し収穫作業が行われ、収穫された WCS は畜産のクラブ員に提供され飼料自給率の向上につながった。

WCS 栽培後の野菜転作についても検討されたが、事前の想定よりも排水性が悪く、より排水性のよいほ場を選ぶか排水対策が必要との結論となった。

(2) 視察研修

クラブ員の資質向上のために 3 月 12、13 日に視察研修を行った。

口蹄疫メモリアルセンターにおいて防疫の必要性について研修するとともに、新規販売先の検討のために都城地方卸売市場と直売所を視察した。

これまでも防疫対策には注意を払ってきたが過去の被害をひどさを学び、防疫対策の重要性を痛感した。

3 今後の課題、取り組み

今回の活動はクラブ活動の活性化につながり、クラブに入っていない若手生産者に PR してクラブへの勧誘へつなげる予定である。

農産物加工など新しいテーマも考えられ、クラブ活動の活性化とクラブ員の資質向上に向けて今後も新たな取り組みを実施したい。



写真1 WCS の収穫



写真2 口蹄疫メモリアルセンター